



さとやま

今月の見どころ

春の足音

今年の冬も暖冬でしたが、やはり朝・晩はピリッとした空気に覆われ、暖かい季節が恋しく感じられます。そんな里で、いち早く春の訪れを教えてくれる花たちをご紹介します。



カワラハンノキ



ハンノキ

ハンノキ広場では、カワラハンノキの雄花が枝にたくさん垂れ下がっているのを目にすることができます。花弁がないため花のように見えませんが、雄花から花粉が風で飛び、小さな雌花に受粉する風媒花です。雄花に触れてみると、花粉が煙のように出るのを見ることができます。また、近くにある背の高いハンノキの梢にも同じような花が咲いています。

もう少し足を進めると、中央広場ではマンサクの花が咲きます。「まず咲く」から名が付いたと言われ、早春の花として有名です。また、この花がたくさん咲けば、その年は「豊年満作」になるともされています。

細長いリボンのような花弁は、はじめ蕾の中にたたまれた状態が入っていて、だんだんほどけていくように咲いていきます。里にあるものは花が赤いのですが、本来は黄色で、小川を隔てた私有地には、黄花のものも見られます。



マンサク (赤花)



マンサク (黄花)

このように暖冬の年も、生き物たちは、気温の変化だけでなく、日照時間が増えていく「光の春」を感じて動き出。

里の水場では、カエルたちの卵塊を見つけることができます。先に出現する塊状のものは、アカガエルの卵で、田んぼエリアなどで見られます。今年は1月下旬頃から見つかっています。毎年菖蒲池にも産卵がありますが、最近では小草池の耐震工事のため田に水を入れる時期まで水が入らず、間に合わないこともあります。



アカガエル



ヒキガエル

少し遅れて見つかるひも状のものはヒキガエルの卵です。ここ数年産卵数が少ないですが、トノボの里などで見られるようです。

このように春の早い時期に産卵があるのは、冬眠中の天敵に食べられないうちに孵化させるためと言われ、カエルたちはもう一度冬眠の続きをするそうです。

高気圧に覆われる暖かい1日に、里の「小さな春」を探してみませんか。

1月の行事紹介



講座「お花炭を焼いてみよう」に山口信夫氏を講師に迎え、1月19日（日）に開催しました。

当日は晴天でとても暖かく、講師からの説明を聞いた後、里山へ植物の葉っぱや木の実を拾いに向かいました。お花炭に適した植物が不安でしたが、焼き方の位置を変えながら調整し、でも蓋を開けるまではとても心配でした。最後に自分で作った竹の器に飾り、思った以上に上手く焼けて、オシャレな花炭の置物アートの完成です！

2月の行事予定

- | | | | | |
|------------------|-----------|---------|---|-------|
| ・ 里山で冬鳥を見つけよう | 2月 9日（日） | 午前 9:00 | ～ | 11:30 |
| ・ 竹炭焼きⅠ（竹きり・竹割り） | 2月 22日（土） | 午前 9:30 | ～ | 11:30 |
| ・ 竹炭焼きⅡ（火入れ） | 2月 23日（日） | 午前 8:30 | ～ | 11:30 |

3月の行事予定

- | | | | | |
|--------------------|-----------|---------|---|-------|
| ・ 竹炭焼きⅢ（窯出し） | 3月 1日（日） | 午前 9:30 | ～ | 11:30 |
| ・ 流木で作ろう～海から届いたもの～ | 3月 15日（日） | 午前 9:30 | ～ | 11:30 |

※竹炭焼き（Ⅰ～Ⅲ）は、継続して参加できる方が優先です。（Ⅲだけの参加は申込みできません。）

※参加受付は、各行事2週間前の午前8時30分から先着順で来園・電話受付のみとなります。

西尾いきものふれあいの里

ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

休日 毎週月曜日及び祝日の翌日 発行 西尾市環境部環境保全課